

平成30年度第3回新潟市健康づくり推進委員会会議概要

日時： 平成31年2月6日（水）

午後7時から午後8時30分

会場： 新潟市総合保健医療センター講堂

1 出席者

【委員】

幾野委員、伊藤委員、浦野委員、鹿島委員、後藤委員、佐々木委員、鈴木委員、関委員、
田邊委員、中林委員、村山委員、葭原委員、和須津委員、渡邊委員
(欠席) 柄沢委員、小林委員、齋藤委員

【事務局】

佐藤保健衛生部長、高野参事（健康づくり政策担当）、高橋保健所長、伊藤保健所健康増進課長、
岩谷医監、瀧澤課長補佐、佐野課長補佐、荒井係長、平野主査、羽田野主査、笹谷主査

【庁内関係課】

スポーツ振興課、地域包括ケア推進課、保険年金課、保健衛生総務課、こころの健康センター、
保健所保健管理課、保健所食の安全推進課、食と花の推進課、各区健康福祉課、保健給食課、
学校支援課

【傍聴者】 2名

2 議題

- (1) 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）について
 - パブリックコメント手続きの実施結果について
 - 最終案について
- (2) 報告・その他
 - 各分野取り組み状況
 - 平成30年度新潟市地域版にいがた未来ポイント・健康寿命延伸アワード応募状況について
 - 平成30年度健康経営の取り組み実績について

3 概要

<議題1 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）について>

- パブリックコメント手続きの実施結果について
- 最終案について
 - ・ 今後の取組に対するご意見が多い。ご意見に対する回答はこれで良いと考えるが、計画に受動喫煙だけでなく、たばこを吸っている人は禁煙、卒煙をという市民の行

動目標があっても良かった。

- ・ アルコールのコラムのウイスキー、ブランデーの記載について、ダブル60mlが原液なのか割った状態なのか、誤解を受けやすいため記載に工夫が必要ではないか。
- ・ 第6章の推進体制が重要になると思うが、内容が総論的で具体性に乏しい。地域社会全体で体制を支援していく場合、P60の体制図が何らかのネットワークでつながり支援体制を目指していくことが目標になると考えるが、P61、62の記載が縦割な印象を受け、横のつながりが見えにくい。組織横断的に記載されているが、前段で各区の健康状態の比較を行っているにもかかわらず、その推進体制が貧弱という印象を受ける。
- ・ 推進体制の関係者のつながりについて、情報弱者への情報提供のありかた、学校医等の医療関係者への伝達など、学校医等は健診以外にもPTA等に働きかける機会がある。そういった機会を生かすような情報伝達の具体性があっても良いのではないか。
- ・ P60の体制図の中で、各分野をつなげ、司令塔の役割を新潟市が担うということが記載されていると良いのでは。いずれかがその役割を担わないと、つながりがばらばらになってしまう。情報は市に集まるものであり、取り組みをお手伝いするという役割で良いと考える。
- ・ 各数値目標を達成するためにどういった事業を実施しているのかが計画からは読み取りにくい。計画の性格上致し方ない面もあるが、今後の評価に向けてそれぞれの指標を達成するためにどういう事業を何回実施し、何人参加したのかなどをホームページなどでも良いのでまとめていくことが必要ではないか。
- ・ 新潟県でも「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤プロジェクト」が動きだし、新潟県全体でレセプト、健診、学校保健などの健康データの集積が始まった。効率的ながん検診など様々役立てることができると考えられるため、新潟市も県と歩調を合わせ取り組んでいただきたい。

<議題2 報告・その他>

○ 各分野取り組み状況

- ・ ちょいしおメニューについて、期間限定ではなく今後も販売していくとよいのではないか。
- ・ ソーシャルマーケティングとしては期間限定の方が売れるが、限定と定期的な販売をどのように考えていくか課題。販売状況等が見える化していくことが大切。
- ・ ウォーキングチャレンジの上位企業について、身体を動かす業務形態が多い印象。デスクワークなどが中心の企業が取り組むことが重要であり、そういった働きかけが必要ではないか。また、実施前、実施後の比較もできれば良い。
- ・ ゲートキーパーの養成後の活動が発展的にできるようになると良い。
- ・ アルコール分野での取り組みが薄い印象。

- ・ COPD対策では喫煙者への働きかけがポイントになってくる。禁煙外来の紹介だけでなく、具体的に何をやるのかの紹介など、受診のハードルを下げる工夫が必要。
 - ・ Webでの情報発信が主流になってきているが、特に高齢者は見ることが難しい。市報などを活用し、情報を手渡しする工夫をしてほしい。
 - ・ 新潟市歯科口腔保健推進条例ができたことをきっかけとし、具体的な施策、事業に展開して欲しい。「格差」「小児からの取り組み」がポイントになるのではないかな。
 - ・ ミニドック型集団健診は良い取組であり、今後も進めて欲しい。個別健診を受けるきっかけにもなる。また、特定保健指導を受けない人の分析もできると良い。
 - ・ 学校でのがん教育は重要な取り組みである。児童生徒への教育のほか、保護者への啓発、中学・高校生では若年未受診者予防にもつながる。
- 平成30年度新潟市地域版にいがた未来ポイント・健康寿命延伸アワード応募状況について
 - 平成30年度健康経営の取り組み実績について

【配布資料】

次第（裏面：座席表）

- 資料1 平成30年度 健康づくり推進委員会委員名簿 兼 委員会出席名簿
- 資料2 「新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）（案）」に対するパブリックコメント手続きの実施結果について
- 資料3 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）（案）
- 資料4 健康づくり推進基本計画の分野別主な取り組み状況
- 資料4-1 野菜 de ちょいしおメニュー
- 資料4-2 平成30年度新潟市ウオーキングチャレンジ
- 資料4-3 平成30年度認知症予防出前講座（やろてば体操・楽しく脳トレ!）について
- 資料4-4 新潟市歯科口腔保健推進条例
- 資料5 平成30年度新潟市地域版にいがた未来ポイント・健康寿命延伸アワード応募状況について
- 資料5-1 健康寿命延伸アワード
- 資料6 平成30年度健康経営の取り組み実績について